

クロスワードタイム

明けましておめでとうございます。皆様の今年がより良い年になりますよう祈念いたします。二重枠の文字を並び替えると答えが出ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compass の感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で 30 名様にクオカードを贈呈します。

■×切:2月26日(月) ■宛先:mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 ワイム高田馬場ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント: 2024年の主役です。

crossword grid with numbered squares and blacked-out areas. Numbers 1-33 are placed in the starting squares of the words.

ヨコのカギ

- 1. 不要な問題... 8. 物事が時間... 9. 腕が10本... 10. 日本の自動車... 12. 砂より大きい石... 13. ときには年配... 14. 洪水被害を防止... 16. 原子番号92... 17. 作業の道具... 19. 地下から水... 20. 個人的な感情... 24. 鳥が食べ物... 26. 現代的で新しい... 28. 朝食と夕食... 29. 何かが始まる... 30. 中世、近世... 31. 物事の初歩... 32. 企業などに働き... 33. 「〇〇〇〇〇もない」...

タテのカギ

- 1. スポーツを楽しむ... 2. 二人で盤に向かい... 3. ゴルフで、ボール... 4. 古い建物や構造物... 5. 新年の初めに、米... 6. 地位の高い人の... 7. 対義語はワフで... 11. 労働者が自分たち... 13. 果物や野菜などが... 15. 植木や草花などを... 18. 日本史では明治維... 21. 熱帯に生えている... 22. オーストラリアに... 23. 悪いことをしている... 25. 数が非常に少なく... 27. 昔の王や皇帝など... 29. 物が放つ光の性質... 31. 物や人がどこにある...

Vol.831クロスワード 正解と当選

答えは「モミジガリ(紅葉狩り)」でした。

solved crossword grid showing the answer 'モミジガリ' in blue.

多数のご応募ありがとうございました。当選者の方々にクオカードをお送りしました。

福森なをみ (アサヌマ)、日野陽子 (安藤ハザマ)、川上修一、柳川義幸 (奥村)、青山知未、乾 奈都乃、景山結衣、竹田大翔、長野亮介、堀 順一、藪本昌之、吉田沙織 (鴻池)、竹林 和 (佐藤)、津賀克巳 (銭高)、後藤広長 (大日本)、澤田和希 (鉄建)、坂本一真、笹岡かがり、田中美幸、中野良香、吉田将大、渡邊麻衣香 (東洋)、河野勝彦、下河太一、松永勝美、宮下加代 (戸田)、森 幸代 (JS)、清水実香、安井敏夫 (松村組)、新野義昭 (三井住友)

<敬称略>

編集後記

組合員の皆さん、新年明けましておめでとうございます。今年も一緒に組合活動を盛り上げていきましょう。

今号は日建協70周年企画や政策提言、時間外労働の上限規制に関する特集など、盛りだくさんの内容でお届けしました。

時間外労働の上限規制については、建設業でも2024年4月からのよい適用開始となります。労働環境の変革が求められるこの状況下で、日建協は70年の大きな節目を迎えることとなりました。企業においてはこれまで以上に労働時間の適切な把握と管理が必要になります。建設業の大きな転換期となりますので、皆さんも上限規制の内容をよく理解して、労働環境の改善を進めていきましょう。

また、加盟組合会社訪問の特集では、時間外労働の上限規制への対応や、働き方改革にむけた取り組みについて掲載しています。会社もさまざまな取り組みで上限規制に対応しようと試行錯誤している様子がかかるかと思えます。ぜひ皆さんの組合活動でも、各社の取り組みについて情報共有し意見を交わしてみてください。私は8社を訪問させていただき、経営者の皆さんや加盟組合執行部の皆さんから有意義なお話をうかがうことができました。

機関誌『Compass』は組合員の皆さんに日建協活動への理解を深めていただくための重要な広報媒体です。皆さんのニーズに的確に応える機関誌となるよう頑張りますので、本年も変わらぬご愛顧のほどよろしくお願い致します。

もや 筋い

日本で電子書籍元年と呼ばれる2010年からはや10年が経ち、今や電子書籍はありふれたものとして私達の日常生活の中にある。もしかしたら若い方の中には物心ついた頃から電子書籍が日常に当たり前に存在していたという人もいるかもしれない。私も趣味・実用書問わず電子書籍を利用しているが、物理的なスペースを取らない点は特にありがたい。置き場所のことを考えると躊躇してしまいそうな巻数の本も電子書籍なら気軽に購入できてしまう。しかし、懐古主義と笑われるかもしれないが紙の本には紙ならではの良さがあるとも思う。借りた本や古本に何度も読まれたページの開き跡が残っているのを見つけた時に特にそれを感じる。使い古された言い回しに「読書を著者との対話」と表現する言葉があるが、古本や借りた本に残っている開き跡は

謂わば前の所有者が著者と対話した跡のようなものではないだろうか。著者の考え方・感じ方だけでなく前の所有者が何度も読んで開き跡が残る程に意識を向けた痕跡というのも趣深いものだ。その本が知人から借りたり譲られたりして前の所有者の人となりが分かっている程、その痕跡から伺える思想や感情の残留物を鮮明に感じられる気がする。単にそこに書かれていることだけでなく、物質的な本そのものに刻まれた興味の跡が前の所有者と新たな読み手を繋ぐメッセージとなるのは、きっと電子書籍にはない紙の本ならではの特徵ではないかと思う。

部屋の大掃除をして書棚の奥から出てきた本を炬燵で読みながら見つけた開き跡に、ふとその本を譲ってくれた知人のことを思い出す年始の夜半。

(電子書籍で漫画を大人買いするおぢさん)